

(西成置うら・炊き出し公園前)

三人よれば何とかの知恵

釜崎夜間學校

と思います。

とせいひ
衛生費はどうするか。

せんこくやと

なと約十萬餘石五十萬石

(『毎日新聞』1985年2月6日朝刊)。

▲ 岡山であったというヒドくもゆるせないこと。
 という「業者」を追放していくためにも、
 労働者が原則的に「闘う」必要があるのでは？

春闘討論 活発な発言続出す

ハ五春闘第一回 討論集会の誓

単価その他の条件

「来年度も公共事業の縮小は続きそうやから、四月以降は仕事減りそうやない」

「去年は空港にからんだりした民間主導型やったけど今年はどうなるかし」

「ええ材料はあんまりないない」とは言うても坐してアブレを待つことはない、ここらで今までの春闘の流れを見てみよう」

「はい、たんは八〇年から、それまでは単価はババヤつたし、釜では春闘はムリと言われってきた」

「それでも毎年吾田すつ上げ

てきた」

「はじめのうちは色々な限界があった」

第一には

事が多い年度末という時期を十分利用できなかったことや、次に現実的な要求額をどうするかというところもある

「四つぐらい原則があるように思う、ひとつは有利な時期をきちんとつかみ利用することや、それに物価の上昇とか元請け単価を踏まえた現実的な要求を伴うこと、どんなにタチの悪い業者でも一律に最低賃金を上げさせないかん、最後に吾田すつ

の腹の下に結集し戦うことや、一昨年はセンターで値上げせん業者を一人ずつお立ちに立たせて要求したけど、昨年は回答の三月一日にはほとんどの業者が五百円あげた、こゆも団結の力や」

「今年の一月、アキテルを労災もみ消しと単価の低いことと追求したけど、遺跡掘りはセンターで求人せん、と約束させた」

「それでもやっぱりセンターでも求人してる、七五以下や」

「遺跡掘りの場合、元請の単価

自体低いという話もあるし、これしかムリという人もあるから、もうちょっと老えなあかん」

「交通費と残業代とかもはつきりさせないかん」

「昔は残業代の表がセンターに貼ってあったけどない」

「飯代とか諸式も問題や」

「食事の質とか、フロアのあななしにもかかってくるな」

「問題はいろいろあるけど要求を煮つめるためには、もっと調査をせないかんない」

「問題はいろいろあるけど要求を煮つめるためには、もっと調査をせないかんない」

「問題はいろいろあるけど要求を煮つめるためには、もっと調査をせないかんない」

「問題はいろいろあるけど要求を煮つめるためには、もっと調査をせないかんない」

「問題はいろいろあるけど要求を煮つめるためには、もっと調査をせないかんない」

「問題はいろいろあるけど要求を煮つめるためには、もっと調査をせないかんない」